

## ここに愛がある

ピーター

♪ はなみずきの十字の花が咲く

よみがえりのいのちに咲くはなみずきの十字の花が咲く 十字架の花 ♪

愛が キリストの愛が 静かに立つはなみずきの花に在る

燃えるようなあなたの熱い想いが 今われらに迫る

キリストよ あなたの十字架が迫って来ます

すべてのものの根源である聖なる十字架(クロス)

はなみずきの十字(クロス)が証する 愛

その打たれた傷により われらいやされり

主の熱い想いが この日 天と地と 地の下と そのすべてに成りますように アーメン

♪ *Livore ejus sanati sumus.* ♪

リーウォーレ エィユス サナティ スームス

その愛とは、風の教会であります。物理的な風の教会だけではない。天のさんびを信じる礼拝は、風の教会であります。ここに愛がある。

昨年(2019年)の12月14日、「白いハト」の証を美津子さんが風の教会でしてくれましたが、その日、与えられたときあかしのことばがあります。

**風の教会はわたしのよろこび**

**白いハトはわたしの愛である**

**わたしの愛を現すものである**

**礼拝は神を拝むところだと思っているであろう**

**そうではない**

**礼拝は愛の満ちるところである**

**わたしの愛とわたしを愛するあなたがたの愛が**

**一つとなってすべてが成る時である**

**この愛の中ですべては完成するのだよ**

子羊の群れの誕生にあたり、主は、「さんびの中ですべては整えられる」と語られました。あれから19年、そしてこれからも、子羊の群れの基調トーンとなるものです。さんびの中ですべてが整えられる。

「白いハト」の証の日に与えられたときあかしは、基調トーンをさらに深く具体的に言い現すものです。この愛の中ですべては完成する。この愛とは、風の教会の礼拝を指しています。

私は、言葉の一番深い意味で、信じているから言います。風の教会はキリストのよろこびであり、ここに神の愛が実現する、と。キリストを礼拝するこの礼拝の中で、すべてが整えられる。

「おらが教会」の自慢話ではありません。風の教会に対するキリストの愛を、自慢話にしか聞けない者は、いまだ霊の耳が開かれていない。肉の迷いの中をさまよっているからです。今は終末の時。神が羊と山羊を区別されるということは、風の教会のビジョンに目が開かれているかどうかで分かります。

あなたがどんな問題を持っているのか、私は知らない。どんな病を、悲しみを担っているのか、私は知りません。しかし、問題が山のように高く大きくても、この礼拝のただ中で、すべての問題は其の答えを得ま

す。それが、風の教会の礼拝です。

「私はまだ病気を持っています」「トラブルはまだ解決していません」とあなたは言うかもしれない。ならば、目を開けるがよい、耳を傾けるがよい。

全き愛の中で、すべて完成している現実を見るのです。トラブルという現象に、いかに愛の光が注がれているか、神の現実(リアリティ)を見るのです。

長引く問題があるなら、それを思い煩うのはあなたの仕事ではないことを知りなさい。贖いは完成している。神の時になれば、現象世界においても、解決した姿が現れてきます。

あなたのすることは、ただ一つ、主を礼拝する。これ程、うれしい簡単なことがありますか。「あなたのトラブルに向かい断食祈禱をしてでも解決を得よ」と言われるなら、かなりの努力が強いられます。しかし、全き贖いの愛の時が来たのです。人間の努力ではなく、ただ信仰のみ。ただ礼拝のみ。それ以外の何も要らない。

「そんな大事な礼拝なのに、うっかり寝てしまいました」という人がいますが、いいのです。礼拝するというのは、人の努力ではないのですから、眠たくなれば寝るがよい。私など、さんびが流れてくるとよく寝ますね。土曜日のさんび練習など、寝ている時が多い。「今日も寝てましたね」と言われますが、表面は寝ているでも深いところではさんびしているのです。

寝ていても覚めていても、いのちの最先端に置かれている感動があります。

3Dムービーというのがあるでしょう。最近映画館に行くと、眼鏡のようなものをもらって画面を見る。すると、なにやら立体的な映像が見えてくる仕組みになっています。3Dというのは、タテ・ヨコ・奥行き of 三次元のことをいうのですが、風の教会の礼拝というのは3D礼拝なのです。信仰の眼鏡をかけて礼拝すると、三次元の礼拝が展開されているのが分かります。

三次元の礼拝というのは私の造語ですが、新約聖書は明らかにそう言う。

それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをか  
がめ、また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するため  
ある。  
(ピリピ 2:10-11)

「天上のもの、地上のもの、地下のものなど」、あらゆるものが主を礼拝する。

「天上のもの」というのは、キリストをよろこぶ天使や、キリスト様の贖いを知って、そのまま天で神様をほめたたえているものたちのことでしょうね。

「地上のもの」これは、一番分かりやすい、あなたであり、私であります。

「地下のもの」とは何ですか。「地下のもの」というのはあまりいいイメージではありません。これは初代教会の用語ですから、今のわたしたちには分かりづらいものがありますが、見えない霊的な存在を指します。諸霊(ストイキア)を含むキリストの直接支配下にはいない存在ですから影の部分の意味しますが、キリストを知らずにこの地から去った者たちも、このカテゴリーに入っていると思います。

「地下のもの」とは、キリスト教会が長い間避けてきたカテゴリーですが、分からないなら分からないと言うだけでよかったのに、余計なことを言ってきた。「洗礼を受けなかった者は地獄に落ちるのだから、地下のものである」とまで言ったし、一部の教会では今も言っています。

ほんとうにそうなのか。聖書は、そう言っているのか。

私がキリストを信じたのは、もう50年くらい前ですが、そのあまりのよろこびに、世界は文字通り一変しました。その後キリスト教会というところにも行きましたけれど、違和感がありましたね。「洗礼を受けていない者は地獄に落ちる、永遠の裁きから逃れることはできない」という教えがあるそうですが、私の直感として、「違う」と思いました。あの当時は、まだことばにしては言い表すことはできませんでしたが、私が出会った

キリスト・イエス様は絶対の愛であり、すべてのものをあわれまれる神です。絶対の愛には例外はない。「キリストは西洋の人たちだけを受け入れる神であろうか」と、幼いなりに私は西欧中心のキリスト教会の傲慢さに違和感を覚えたのです。

イエスの打たれた傷によるいやしと、キリストの救いは、すべての被造物に及ぶものである。仏教徒にも、イスラム教徒にも、神などいないという者たちさえも、すべてのものに、贖いの愛が行く。そうでなければ、すべてのものの救い主になるはずがない。

幼い私の直感でしたが、今、それがいよいよ分かるようになりました。終末の時の神の啓示が明らかになってきたからです。天上のもの、地上のもの、そして地下のものまでも、贖いの光はあまねく行くのです。

美津子さんと私は、「白いハト」の最初からこのことは分かっていたのですが、当時はまだ公表する時ではありませんでした。主ははじめから、「わたしは待っている」と言われましたが、主が待っておられたのは、すべての被造物が共に主を礼拝する時だったのです。

そして、ついにその時が来たのです。風の教会の出現と共に、封印は解かれた。

影にいたものたちも、風の教会に招かれたのです。キリストの贖いに与る時が来たからです。「地下のもの」へ光が届き、かれらも又光の中に編入されるようになったからです。

最近、生前は主を信じていなかった者も風の教会の礼拝に参加していることが分かったという証を聞くようになりました。ましてや主を信じてかの世界に行った者は、今風の教会の礼拝をどんなによこんでいることか。

「今日の礼拝には、母が来ていました」「あ、あそこに父がいる」

先週もニューヨークの新井さつきさんがメッセージしましたが、礼拝の時、天に逝かれたお母さんを見かけると、彼女は「風の教会の働き人にされてうれしい」と言われたそうです。

いいですね。うれしくなります。しかし誤解してほしくないのは、わたしたちは霊界との交流をしているのではないということです。

目的は、ただ一つ。「イエス・キリストは主である」と告白するためであります。霊界交流が目的ではない。キリスト告白が目的です。この告白に、全天が一つになっていることを証しているのです。まことの礼拝は、宇宙的告白 (cosmic confession) の場であります。

風の教会には地上を去ったたくさんの魂が集って来ます。「イエス・キリストは主である」と告白するためであります。この告白は、歴史を変える原動力となるものです。

イエス・キリストは、ほふられた小羊です。

終末の時の礼拝、宇宙礼拝の真ん中に、ほふられた小羊が立つ。

さらに見ていると、御座と生き物と長老たちとのまわりに、多くの御使たちの声上がるのを聞いた。

その数は万の幾万倍、千の幾千倍もあって、大声で叫んでいた、「ほふられた小羊こそは、力と、富と、知恵と、勢いと、ほまれと、栄光と、さんびとを受けるにふさわしい」。(黙示録 5:11-12)

Agnus occisus (アグヌス オッキスス) 「ほふられた小羊」は、天にいるものはもちろんのこと、地の上にいるもの、そして地の下にいるものにも鮮明に分かる存在の存在、全天の中心イメージであります。救い主は最高の権力者・裁きの主でありながら、その本質は徹底的に弱くされた小羊であります。

三次元の宇宙礼拝に招かれた者よ、ここに愛があることを知れ。「このいのちが現れたので、この永遠のいのちをわたしたちは見て、そのあかしをし、かつ、あなたがたに告げ知らせるのである」(Iヨハネ 1:2)

キリスト・イエスの打たれた傷、そのいやしは、目に見えるわたしたちだけではない。見えないものたちにも、かれらも、また、いやされる。

私は信じます。霊になった者も、傷をそのまま抱えて逝った者も、いやす愛がある。  
贖いの愛に、かれらを招こうではありませんか。かれらのいやしは、主の願いであります。

すべての問題は、礼拝の中で整えられる。すべては、いやされる。

あなたの心臓の病も、子供の問題も、仕事がないという不安も、ここに解消される。「ガンの末期状態で  
す」と宣告された者よ、あわてるな。泣かなくてもよい。

今は、ただ小羊を礼拝しなさい。風の教会で礼拝をしなさい。ここは、天上のもの、地上のもの、地下の  
もの、ことごとくが集まってキリストを告白する場です。

神の計画の最終段階にさしかかりました。

恐れおののけ。キリスト・イエス様の愛の最高が、ここに現れてきた。

主なる神は言われる。

風の教会はわたしのよろこび  
白いハトはわたしの愛である  
わたしの愛を現すものである  
礼拝は神を拝むところだと思っているであろう  
そうではない  
礼拝は愛の満ちるところである  
わたしの愛とわたしを愛するあなたがたの愛が  
一つとなってすべてが成る時である  
この愛の中ですべては完成するのだよ

ここに愛がある。

2012年5月6日

(「ぶどうの木 2012年6月号」より)